

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	利用者様が集うリビングの、照明が天候によって左右されている。食事や活動・作業などに必要な明るさが確保できていない。また、テレビの裏のガラス窓からの日光がまぶしく、テレビも見にくいいため、シーツを固定で貼り付けた状態である。そのために全体に暗い感じがする。	日常生活の中で必要な明るさをキープし、楽しく活動や食事が出来る。	①照明については改善箇所が多いため、法人本部と相談し、徐々に改善していく。 ②テレビの裏側については、開閉できる厚手のカーテンなどを導入する等、その時々で明るさや不自由さを改善できるような方法を実践する。	12ヶ月
2	35	夜間想定火災訓練を含め、年2回の火災訓練は行っているが、自然災害を想定した訓練を行っていない。	火災訓練に加えて、自然災害に備えての訓練を実施する。	①年2回行っている防災訓練を、1回は自然災害想定訓練として実施する。 ②防災に対する勉強会を年2回、実施する。 ③自然災害についてのマニュアルを作成する。	12ヶ月
3	36	尊厳やプライバシーへの配慮については、勉強会等を行っているが、職員へ浸透しておらず、特に配慮に欠けた行動がある。	尊厳やプライバシーに配慮した支援を行なう。	①その場その場で、職員間でお互いに注意し合う。 ②介護倫理、尊厳、プライバシーの保護についての勉強会を実施し、職員への周知を図る。 ③カンファレンスや全体会議を通して、ケアの在り方や実際の支援について注意や意見が出し合える環境を作る。	12ヶ月
4	40	食は特に、力を入れており、季節の物や利用者様の好みに対応して提供している。今後も継続し、利用者様の食への楽しみを維持していく努力が必要である。	利用者様の希望を取り入れながら、食を通して楽しみが増えるようにする。	①季節の食材を取り入れ、ぬくもりのある食事を心がける。 ②アンケートを行ない、利用者様の希望を取り入れる。刺身の日、握りずしの日、おやつバイキング等	12ヶ月
5	33	入所時に、転倒や身体拘束などのリスクや看取りや考え方について顔z区へ説明しているが、認知症の進行や身体機能の低下による、様々なリスクに対して説明が出来ていない。	ホームでの生活の中で起こりうる、様々なリスクについて、入所時及びカンファレンス等で家族に説明する。	①入所時の説明項目に入れ、必ず説明する。また、説明用の資料等の作成も行う。 ②家族会や必要時、リスクについての説明を行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。